

# 小学校・第6学年・体育科（運動領域）・ハードル走①

## 育成を目指す資質・能力

### (1)知識及び技能

次の運動の楽しさや喜びを味わい、その行い方を理解するとともに、その技能を身に付けること。

イ ハードル走では、ハードルをリズムカルに走り越えること。

### (2)思考力、判断力、表現力等

自己の能力に適した課題の解決の仕方、競争や記録への挑戦の仕方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えること。

### (3)学びに向かう力、人間性等

運動に積極的に取り組み、約束を守り助け合って運動をしたり、勝敗を受け入れたり、仲間の考えや取組を認めたり、場や用具の安全に気を配ったりすること。

## ICT活用のポイント

・ICT端末に、各自が記録を入力し、自己の変容を的確に把握することで個別最適な学びにつなげる。

・各自が見付けた動きのポイントや仲間のよい動きを入力し、学習支援ソフトを活用することで協働的な学びを実現する。

## 事例の概要

学習課題の設定

記録に挑戦

記録の入力

学習の振り返り

本事例は、個人の目標タイム（50m走の記録+ハードルの台数×0.3）を設定し、その目標タイムを達成することを学習課題とする。

記録の入力では、児童は毎時間タイムを測定し、表計算ソフトを使用する。記録は折れ線グラフとして表示することで、自己の変容を視覚的に捉えることができるようにする。また、合わせて目標記録も表示をすることで、目標記録との差も視覚的に捉えることができるようにする。

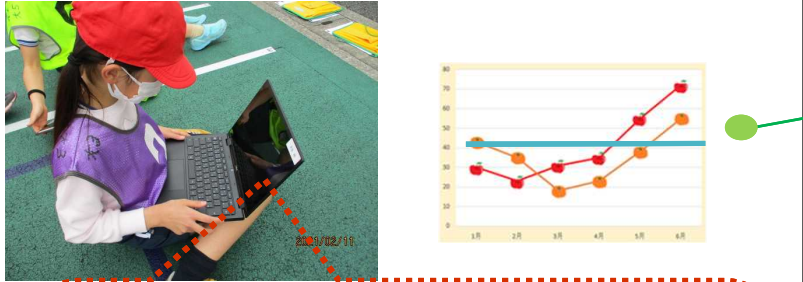
学習の振り返りでは、学級で共有しているデータに、各自が見付けた動きのポイントや仲間のよい動きを入力する。仲間が記入した内容を確認することで、自己の学習を振り返るとともに、次の時間のめあてにつなげる。

教師は、児童の活動の状況や思考の流れをデータ処理することで、本時の指導を振り返るとともに、次時以降の授業改善に生かす。

# 小学校・第6学年・体育科（運動領域）・ハードル走②

～自己の変容を視覚的に捉えるとともに、各自が見付けた動きのポイントを共有したり、仲間のよい動きを伝えたりする。～

## 【事例におけるICT活用のポイント①】



The image shows a student in a purple vest and red cap sitting on the floor, using a laptop. To the right is a line graph with a grid. The x-axis is labeled '1回' through '5回' (1st to 5th trial). The y-axis ranges from 20 to 70. There are two data series: one with blue circles and one with orange squares. A horizontal blue line is drawn at approximately y=45, representing a target. The blue series starts at 45, dips to 35, and then rises to 65. The orange series starts at 30, dips to 25, and then rises to 55.

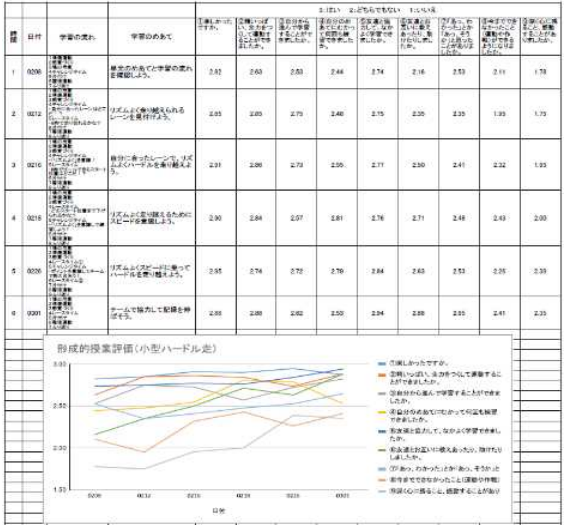
### 【ICT活用のメリットを生み出すための工夫】

- ・記録を折れ線グラフとして表示することで、自己の変容を視覚的に捉えることができる。また、合わせて目標記録も表示をすることで、目標記録との差も視覚的に捉えることができる。
- ・個々の児童がデータを入力し、そのデータを一覧にすることで、各自が見付けた動きのポイントを共有したり、仲間のよい動きを伝えたりする。

### 【教師にとってのICT活用のメリット】

- ・短時間で効率的に、全時間の児童の活動や思考の流れを折れ線グラフ等を活用して把握することができる。
- ・個々の児童の学習状況を客観的・継続的に把握することができる。
- ・学校全体でデータを共有することで、今後、同じ単元の学習を指導する際の参考資料の一つとして活用することができる。

## 【事例におけるICT活用のポイント②】



The image shows a large table with columns for '項目' (Item), '学習の意図' (Learning intention), '学習のあて' (Target), and '学習の状況' (Learning situation). Below the table is a line graph titled '形成的授業評価(小型ハードル走)'. The x-axis is labeled '0000', '0010', '0020', '0030', '0040', '0050'. The y-axis ranges from 1.50 to 3.00. Multiple colored lines represent different students' performance over time.

学級全体の平均が自動で集計され、グラフにも反映される。

個々の児童に応じた、よりきめ細やかな指導・支援に生かすことができる

【活用したソフトや機能】  
学習支援ソフト、表計算ソフト